

## 国際ガールズ・デー企画 全2回

# 女の子たちの今～セカイとニッポン

第1回 ニッポンの女の子について考えよう。  
「メディアの中の少女たち」



第2回 セカイの女の子について考えよう。  
『アッラーと私とスカーフと』上映会

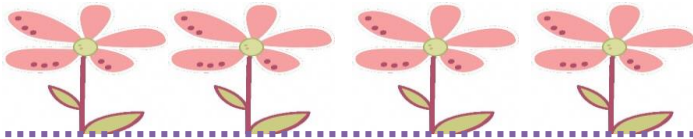


10月11日は国際ガールズ・デーです。「女の子の権利」や「女の子のエンパワーメント」の促進を、広く国際社会に呼びかける日として、国連によって定められました。

これを機に、「国際ガールズ・デー企画 女の子たちの今～セカイとニッポン」を開催します。

中学生・高校生・大学生、保護者、教育関係者など、関心のある方ならどなたでも参加できます。男性や、カップル、お友達同士、親子での参加も歓迎します。

回	日時	タイトル・内容
1	10/11 (日) 13:00 ～ 15:00	<p>★ニッポンの女の子について考えよう。 「メディアの中の少女たち」</p> <p>普段なにげなく見ている雑誌広告やCM。さまざまなメディアの中の少女たちは、知らないうちに女性役割を担わされたり、性的対象として男性の視線をまとう表現を求められたりしています。少女たちがどのように描かれているか、テレビCMを中心に見直し、気づきを通して男女平等について考えます。</p> 
2	10/18 (日) 13:00 ～ 15:00	<p>★セカイの女の子について考えよう。 『アッラーと私とスカーフと』 上映会</p> <p>カナダに住む4人のイスラム教徒の女性がヒジャブをするかどうかで悩む姿を追うドキュメンタリー。イスラム世界における女性の服装は、顔全体を覆い隠すブルカやニカブ、顔だけ出して全体を覆うチャドル、頭髪を隠すヒジャブ(スカーフ)などさまざまです。女性の服装をとおして文化や宗教、アイデンティティについて考えます。 2015/横間恭子監督作品(上映時間 60分)</p> 



## 講師紹介

### 第1回

### ★ニッポンの女の子について考えよう。 「メディアの中の少女たち」

千田有紀さん（武蔵大学社会学部教授）

1968 年生まれ。2000 年東京大学大学院人文社会系  
研究科博士課程修了。

現在、武蔵大学社会学部教授/博士(社会学)。

専門は、現代社会論、ジェンダーの社会学、家族社会学。

日本女性学会代表幹事、練馬区男女共同参画センター  
運営委員。

『日本型近代家族—どこから来てどこへ行くのか』、  
『女性学/男性学』、共著に『ジェンダー論をつかむ』  
など著作多数。



会場

男女平等推進センター 視聴覚室

保育

1 歳以上未就学児5名  
(お子さんの同席はご遠慮ください)

対象

25名 (多数抽選)

参加費

無料



お願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場の際はマスクの着用を  
お願いいたします。体調不良や発熱がある場合は受講をお控えください。



申し込み方法



QRコードが読み取れない場合は、  
区ホームページからお入りください。



9月11日(金) 午前9時から

往復はがきまたは電子申請にて受付開始。①講座名「ガールズ」  
②氏名(フリガナ) ③年齢④郵便番号・住所⑤保育の希望の有  
無(有の場合は、子どもの氏名<フリガナ> 年月齢)  
9月29日必着(多数抽選)

電話・問い合わせ先

〒124-0012 葛飾区立石5-27-1  
ウィメンズパル内 葛飾区男女平等推進センター  
TEL: 03-5698-2211

